



～服薬支援ロボットで、飲み忘れをサポート～

こんにちは、かくの木薬局です。私たちは地域に根ざす薬局として、みなさまが住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けるために、健康や医療の面からサポートしていきたいという想いを持って、日々取り組んでいます。

お薬を正しく飲むことは治療の基本です。しかし、認知機能の低下などでお薬の管理が難しい患者さんがいます。そのような場合には薬剤師が自宅に訪問して、その患者さんの状態や生活に合わせた服薬方法を支援します。多く利用されているのが、お薬カレンダーです。1回分ずつのお薬を朝、昼、夕、寝る前にセットして管理します。しかし、日付や時間が分からなくなってきた患者さんでは、飲み忘れを防ぐことができません。

そこで、まどかのケアマネさんの要望もあって導入したのが「お薬ロボット」と呼ばれる服薬支援機です。付属の容器に1回分ずつ薬をいれて1週間分セットします。設定した時間になると「お薬の時間です～」という音声と共に薬入りの容器が排出されます。患者さんはその容器を取り出して薬を飲みます。もし、40分たっても取りださない場合には機械の中に戻されます。中の容器は外から取り出せないようになっており、重複や飲み間違いも防ぎます。

このお薬ロボットには通信機能があり、薬を取り出すとメールで連絡がきます。これによって、別の場所からも服薬の確認ができます。ケアマネさんやご家族にも通信できますので、服薬だけでなく、安否確認にもなり安心です。特に、独居で服薬に声かけが必要な方、老老介護でうっかり忘れが多い方などには効果的です。



「お薬さん」全面写真

一方で、認知症が進んで容器を取り出す手順が理解できない方、また、外出が多く生活が不規則な方への利用はうまくいきませんでした。このように相性はありますが、上手に機械を活用できれば安定した服薬が維持できます。服薬管理にお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

(かくの木薬局／武笠真由美)

一人暮らしのAさんは認知症がありますが、その時々判断は保たれています。服薬カレンダーでの飲み忘れが増えてきたころ、かくの木薬局さんに服薬支援ロボットのデモンストレーションをお願いしました。さっそくAさんに使用していただくと、飲み忘れがほとんどなく毎日の血圧が安定し、2年以上大好きな家にいることができました。